

報道関係各位

2013年11月11日
慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2013 開催 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) 研究成果発表会 「創の bazaar」

慶應義塾大学 SFC 研究所(所在:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス/所長:小川克彦)は、11月22日、23日の2日間、SFCで実施している研究プロジェクトを紹介するイベント『SFC Open Research Forum 2013 (ORF2013)』を東京ミッドタウン ホール&カンファレンスにて開催いたします。

昨年のORF2012では「知の bazaar」をテーマとして開催し、たくさんの方々に来場いただきました。bazaarとは、多様な人たちが自由に行き交い、対等に、かつ自発的に交易するオープンなプラットフォーム。ORF2013では「創の bazaar」にシンカ(進化、深化、新化)して、さらに新しい価値や可能性を生み出し、知の創発をもたらします。そして、皆さまと一緒に社会を元気にするための「銀の弾丸(silver bullet)」を探り出して、自我作古(我より古を作す)の気概をもって未来を創ってまいります。

研究成果発表のイベントとしてご紹介いただくとともに、ぜひご来場のうえ、ご取材をお願い申し上げます。

1. SFC Open Research Forum 2013 「創の bazaar」 開催概要

- 会 期: 2013年11月22日(金)、23日(土・祝)
10:00~19:30(ただし展示会場は23日のみ18:00閉場)、入場無料
- 会 場: 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス
- 公式ウェブサイト: <http://orf.sfc.keio.ac.jp/jp>
- 事前広報番組「真夜中の SFC」: <http://www.ustream.tv/channel/mayonaka-sfc>
- 実行委員長: 飯盛義徳 (慶應義塾大学総合政策学部准教授)
- 主 催: 慶應義塾大学 SFC 研究所
- 内 容: 会期中に約60のセッション・ワークショップ、150を超える展示を予定
スマホ未来コンテストも同時開催



本件に関する問い合わせ先

慶應義塾大学 SFC 研究所 ORF 事務局 担当: 鈴木・河越

TEL: 0466-49-3436 e-mail: orf-aria@sfc.keio.ac.jp

※開催準備日(21日)、開催日(22日・23日)につきましては、080-2049-6839 までご連絡ください。

※ロゴ、昨年度の会場風景の画像データについては事務局までお問合せ下さい。

《プログラム紹介》

ORF 会期中、東京ミッドタウンホール(B1F)では、5つの研究分野に分かれて、SFC 研究所の最先端の研究内容を展示します。

A ユビキタス・インフラ・通信・技術－高信頼情報社会	19 団体
B 身体知・ヘルスケア・ライフサイエンス－健康高齢社会	14 団体
C 政策・文化・ガバナンス－国際戦略設計	7 団体
D 社会・グローバル・地域・教育－社会イノベーション	30 団体
E デザイン・環境デザイン－環境共生	19 団体



■展示情報の抜粋

A10 ビッグデータからの知識発見プロジェクト ビッグデータからの知識発見

出展団体代表者：武田圭史 / 環境情報学部

急速に発展するビッグデータ解析を利用し、通常では我々が知り得ない、表面化しない知識を得るプロセスを展示します。ここから得られた知識を Web を通じて発信することで、ビッグデータ解析の有用性を世の中に広めることを目的としています。

B05 諏訪正樹研究会 哲人 —おとなりさんの哲学—

出展団体代表者：諏訪正樹 / 環境情報学部

宮城県気仙沼市、及び藤沢市湘南台における地域コミュニティ意識のデザイン活動を行っています。気仙沼・湘南台でお仕事をされる方々を哲人と呼びし、彼らの「仕事やまちに対する哲学」をインタビューで掘り起こし、ポストカードに編集、哲人のお店や市内に設置します。ポストカードを介したコミュニケーションを通じて、地域の皆様が各々の人生経験に基づき、具体的な発展像を描くことができます。気仙沼では地元高校生と協働で活動し、復興へと繋がります。湘南台では商店会の活性化・学生との交流促進を目指しています。

C07 渡邊頼純研究会 日本の TPP 交渉参加と世界貿易の展望

出展団体代表者：渡邊頼純 / 総合政策学部

渡邊頼純研究会では、貿易政策・国際経済法を中心とした研究を行っています。今回はその中でも「TPP(環太平洋経済連携協定)」に焦点を当てていきたいと思っております。日本は今年からいよいよ TPP 交渉に参加することになりました。日本が TPP 交渉に参加することで地域間で高いレベルの地域統合が進み、世界貿易に大きな成果をもたらすでしょう。今後どのような動きになるのか考察していきます。

D15 医療倫理・医療安全教育研究・ラボ

出展団体代表者：前田正一 / 健康マネジメント研究科

本ラボラトリーは、公共政策のあり方の検討を含む、医療倫理・医療安全に関する諸課題について、多分野の研究者や実務者、行政関係者が共同して検討することを目的としています。また、そこで得られた総合的学際的知見を基礎に、関係者に対する教育プログラムを検討し、教育講座等を通じて、その一部を実践することを目指します。

E02 脇田玲研究室 Electric Furoshiki

出展団体代表者：脇田玲 / 環境情報学部

風呂敷は古くから様々なものを包むことに使われており、風呂敷で贈り物を包むことで人への心遣いや感謝の気持ちを表すことがあります。本研究では一枚の布に電子部品を組み込み、風呂敷にインタラクティブを加えることで、新たな方法でメッセージを伝える Electric Furoshiki の実現を目指しています。私たちは一枚の布である風呂敷を用いて人に気持ちを伝える、新しいコミュニケーション方法を提案します。

E18 増井俊之研究室 負担が少ない認証手法

出展団体代表者：増井俊之 / 環境情報学部

現在主流の個人認証手法はパスワードを忘れる危険や鍵を紛失する危険などユーザに過度な負担を強いているものがほとんどです。ユーザが絶対忘れない記憶を利用して安全に認証を行う認証手法に関する研究を展示します。

E19 筧康明研究室 Inter-Personal Display: 多人数調和型情報環境デザイン

出展団体代表者：筧康明 / 環境情報学部

多人数が集う場での利用を前提とした人間調和型情報提示技術として、人々の直観的理解や対面コミュニケーションを重視しつつ、現実世界に情報世界を重畳する技術の実現を目指します。ノンバーバルコミュニケーションを強調・促進するメディアや、人々の感情や嗜好を共有するツールなど、拡張現実感技術を用いてミュージアムや教室、ワークプレイスにおける体験をサポートする取り組みについて紹介します。

■スマホ未来コンテスト

スマートフォンの本格的な普及を受けて、今回からスマホ未来コンテストと名称をアップデートして実施しています。スマートフォンを使って未来の情報社会をより明るく、楽しく、やさしくする作品やアイデアを全国の小学生から大学院生までの児童・生徒・学生から募りました。

新しい世代の人たちによって新しい情報社会が創り出されてきています。このコンテストでは、これからの社会を担う若い方々が潜在的にもっているクリエイティビティを存分に実感していただけます。

コンテストのスポンサーであるソフトバンク モバイル株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、KDDI 株式会社にも協力を得て、11月23日(土・祝)には先端作品部門、未来創造部門でそれぞれの最優秀賞と審査員特別賞が最大各1作品選ばれ、表彰されます。

スマホ未来コンテストオフィシャル WEB サイト <http://sdc.sfc.keio.ac.jp/>



■プレミアムセッション

11月22日(金)

12:00 ~ 13:30

room 9

PS-01 全国自治体 ICT サミット 2013 ~モバイルデバイスが自治体にもたらす変化とは~
ライフクラウドの時代がやってくる~個人の健康情報を利用する情報社会基盤~

岸本英雄 佐賀県玄海町 町長
草間吉夫 茨城県高萩市 市長
武久顕也 岡山県瀬戸内市 市長
服部信明 神奈川県茅ヶ崎市 市長
布施孝尚 宮城県登米市 市長
牧野百男 福井県鯖江市 市長
國領二郎 常任理事 / 総合政策学部 教授
櫻井美穂子 政策・メディア研究科 特任助教

12:15 ~ 13:45

room 5

PS-02 データが健康を創る社会

川野毅 アクセンチュア株式会社 公共サービス・医療健康本部シニアマネージャー
田上信介 インテル株式会社 イノベーション事業本部 デジタルヘルス事業部 事業部長
村井純 環境情報学部 学部長・教授
森川富昭 政策・メディア研究科 准教授

13:00 ~ 14:30

room 7

PS-03 3Dプリンタとファブリケーションの未来

小川秀明 オーストリア Ars Electronica Futurelab
小林茂 情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 産業文化研究センター 准教授
田中浩也 環境情報学部 准教授 / ファブラボジャパン 発起人
脇田玲 環境情報学部 准教授
水野大二郎 環境情報学部 専任講師

15:00 ~ 16:00

room 7

PS-04 【日本研究プラットフォーム・ラボ】インターネットのガバナンスの将来

アダム・ピーク 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)主幹研究員
小畑至弘 エクイニクス・ジャパン株式会社 ソリューションアーキテクト
ジャン・フィリップ・モイニー ベルギー ベルギー経済省
竹井淳 インテル株式会社 技術政策推進本部 執行役員本部長 /
SFC 研究所 上席所員(訪問)
ジム・フォスター 政策・メディア研究科 教授

11月23日(土・祝)

10:00 ~ 11:30

room3+4

PS-05 高校生のための SFC 講座

井庭崇 総合政策学部 准教授
清水唯一朗 総合政策学部 准教授
森さち子 総合政策学部 准教授
植原啓介 環境情報学部 准教授
大木聖子 環境情報学部 准教授
高汐一紀 環境情報学部 准教授
内藤泰宏 環境情報学部 准教授

10:30 ~ 11:30

room6

PS-06 SFC の看護技術

石井裕之 早稲田大学理工学術院 研究講師
今西宣晶 医学部 准教授
三上れつ 看護医療学部 教授
藤井千枝子 看護医療学部 准教授

12:00 ~ 13:15

room3+4

PS-07 SFC の健康科学が未来社会を創造する —SFC を目指す高校生に送る—

村井純 環境情報学部 学部長・教授
富田勝 環境情報学部 教授
濱田庸子 環境情報学部 教授
渡辺光博 政策・メディア研究科 教授
秋山美紀 環境情報学部 准教授
内藤泰宏 環境情報学部 准教授
仰木裕嗣 政策・メディア研究科 准教授
森川富昭 政策・メディア研究科 准教授

12:00 ~ 13:30

room5

PS-08 一人称研究を問う

中島秀之 公立はこだて未来大学 学長
藤井晴行 東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授
堀浩一 東京大学 大学院工学系研究科 教授
國領二郎 常任理事 / 総合政策学部 教授
熊坂賢次 環境情報学部 教授
諏訪正樹 環境情報学部 教授
金子郁容 政策・メディア研究科 教授

12:30 ~ 14:00

room7

PS-09 【日本研究プラットフォーム・ラボ】 アニメ産業のエミュレーション

イアン・コンドリー アメリカ マサチューセッツ工科大学 教授
青崎智行 株式会社電通 ソーシャル・ソリューション局
土屋大洋 政策・メディア研究科 教授

13:30 ~ 14:30

room6

PS-10 看護ベストプラクティス研究開発・ラボ(看護医療学部教授 小松浩子代表)

ケアの創出:がんになってからの生き方

武田祐子 看護医療学部 教授
野末聖香 看護医療学部 教授
宮脇美保子 看護医療学部 教授
茶園美香 看護医療学部 准教授

14:00 ~ 15:00

room5

PS-11 ネット規制のあり方

河野康子 一般社団法人全国消費者団体連絡会 事務局長
後藤玄利 ケンコーコム株式会社 代表取締役
國領二郎 常任理事 / 総合政策学部 教授
夏野剛 政策・メディア研究科 特別招聘教授
野原佐和子 政策・メディア研究科 特任教授

15:45 ~ 17:15

room3+4

PS-12 クリエイティブコーディングの未来

久保田晃弘 多摩美術大学 教授 / JAXA
松村誠一郎 東京工科大学 デザイン学部 准教授
村田純一 株式会社ビー・エヌ・エヌ新社 取締役 副編集長
脇田玲 環境情報学部 准教授

17:45 ~ 19:15

room3+4

PS-13 SFCが拓く未来とSFCの役割

國領二郎 常任理事 / 総合政策学部 教授
河添健 総合政策学部 学部長・教授
村井純 環境情報学部 学部長・教授
徳田英幸 政策・メディア研究科 委員長 / 環境情報学部 教授
小川克彦 SFC 研究所 所長 / 環境情報学部 教授
加藤文俊 未来創造塾開設準備室 委員(環境情報学部 教授)
内藤泰宏 未来創造塾建設委員会 副委員長(環境情報学部 准教授)
古谷知之 未来創造塾開設準備室 企画ディレクター(総合政策学部 准教授)
池田靖史 未来創造塾建設委員会 委員長(政策・メディア研究科 教授)
村林裕 未来創造塾開設準備室 室長(政策・メディア研究科 教授)

※プログラムは事前の告知なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

SFC Open Research Forum 2013

取材お申し込み用紙

【開催日時】2013年11月22日(金)、23日(土・祝) 10:00~19:30
 (ただし展示会場は23日のみ18:00閉場)

【開催場所】東京ミッドタウン ホール&カンファレンス

【レセプション】22日(金)18:00~19:30 @room9

※研究者、企業の方、メディアの方との立食形式のカジュアルな交流会です。

22日プログラム取材

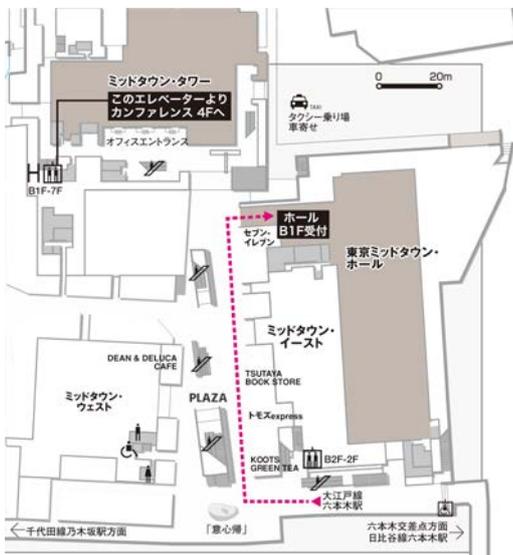
ご出席 ご欠席

23日プログラム取材

ご出席 ご欠席

22日レセプション(18:00~19:30)

ご出席 ご欠席



公共交通機関からのアクセス Access from the train station

地下鉄をご利用の場合

以下の最寄り駅より、東京ミッドタウンへお越しください。

- 都営大江戸線「六本木駅」8番出口より直結
- 東京メトロ日比谷線「六本木駅」4a出口側から地下通路を經由し、8番出口より直結
- 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」1番出口より徒歩約10分

※ 日比谷線「六本木駅」より車椅子・ベビーカーにてお越しの場合、4a出口より地上からお越しください。

バスをご利用の場合

以下の最寄りバス停より、東京ミッドタウンへお越しください。

- 都01・渋88・反96「六本木駅前」下車徒歩約2分
- ちいばす「六本木七丁目」「榎町公園」下車徒歩約1分

大変お手数ですが、ご出席を 11月19日(火)までにメールもしくはFAXにて、ご返信くださいますようお願い申し上げます。

★取材当日はお名刺をご持参のうえ、報道受付カウンターにお立ち寄りください。

貴社名	
媒体／番組名／ご所属	
ご出席者名	
ご連絡先電話番号	
メールアドレス	@
取材希望	※個別の取材希望がありましたらご記入ください
連絡欄	